

(8 月 8 日) : ベトナム株は上昇も、流動性は高くない

銀行、小売り、建設などへの安全なセクターへの投資を投資家が求めたため、ベトナム株は水曜日にわずかに上昇した。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.14% 上昇し 965.93 ポイントで取引を終えた。

VN 指数は金曜日からの 3 営業日で合計 3.28% ほど下落していた。

銀行、小売り、建設などの株が市場を牽引した。

それら 3 つのセクター指数は 0.8-3.3% 上昇した。

投資家は世界市場が不透明な中でそれらの 3 セクターには投資機会を見出してる。

米中貿易摩擦が巻き起こる中、人民元が 11 年ぶりの安値になったことがベトナムのマクロ経済と株式市場に重荷になった。

しかしながら、大型株の上昇が市場の下落を和らげることになった。

VN30 指数は 0.25% ほど上昇し 868.27 ポイントで引けた。

10 銘柄の上昇に対し 18 銘柄が下落した。

ベトコムバンク (VCB) (+2.8%)、モバイルワールドインベストメント (MWG) (+3.6%)、ビナミルク (VNM) (+0.7%)、ホアファットグループ (HPG) (+1.6%)、ノバランド不動産 (NVL) (+1.2%)、サイゴンビールアルコール飲料総公社 (SAB) (+0.3%) などが大きく上昇した。

株式市場の不透明さから流動性は中水準にとどまった。

出来高は 2 億 1900 万株で、売買代金は 7.7 兆ドン (3 億 2900 万ドル) であった。

サイゴンハノイ証券によると、中水準の流動性の中のわずかな上昇は単なるテクニカル的な反発に過ぎないとのことだった。

リスクは依然として残り、依然として調整をする可能性が大きくあると同社は語った。

ハノイ取引所の HNX 指数は 101.89 ポイントで取引を終えた。

直近 4 営業日で同指数は 2.43%ほど下落していた。

出来高は 2800 万株で、売買代金は 4035 億ドンほどだった。

バオベト証券によると、VN 指数は 955-960 ポイントが下支えのラインとなり、今週の残りの 2 日は上昇が見込まれている。もしそうであるなら、昨日開けた 973-978 ポイントの窓を埋めに行く必要があるだろうとのことだった。

しかしながら市場はボラティリティが高いことが予想される。もしも直近の支持線を割ることがあればさらなる支持線まで下落することが見込まれる。

市場は外国人投資家の売り越しにも苦しんでいる。株式投資比率は 30-35%を維持すべきである。株式投資比率の高い投資家は反発時に恩恵を受けることが出来る。

支持線付近で押し目買いをするべきで、漁業、工業団地、不動産、IT などのマクロ経済から恩恵を受けるセクターに投資をするべきである。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。